

住民の命と暮らしをまもる 地方自治体ほんらいの仕事をめざす日本共産党

自衛隊の海外派兵に反対し 憲法をまもります

5年前 208件、昨年 14,338件と世界のテロ件数は急増。戦争でテロはなくなることがはっきりしました。憲法九条をもつ日本だからこそ憲法を守り世界に平和を発信します。

消費税の増税計画許しません

消費税は、所得の少ない人に重くのしかかる不公平税制です。消費税の大増税は、社会保障の財源ではなく、大企業の減税のために使われてきました。国民を苦しめる消費税増税は許しません。

暮らしを守るルールを提案しています

無法なリストラに反対し、安定した雇用を拡大します。医療費の負担増や年金改悪に反対し、安心できる社会保障を築くために、暮らしを守るルールを提案しています。

国政でも甲良町でも「住民が主人公」がつつらぬきます
みなさんの声しっかり受け止め全力でがんばります

町の土地の不法占有

一部の町民が町有地に住宅を建設。固定資産税を長期に納めないのに町は放置。無法をただすために裁判を起こしてたたかっています。

「道の駅」暴走ゆるさず、町民の知恵の結集こそ大事

1億円を越す土地を議会や町民に知らせず当局が独断で購入したことが12月議会であきらかに。不当性を追及したのは日本共産党の議員だけでした。

「鴨公園事業」「部落解放広域加工センター」「農産物直販施設人権センター」で大きな税金が使われ失敗しました。くりかえさないために農家のみなさんの声や知恵を結集することこそ大事です。

「町民の利益の守り手」日本共産党議員

みなさんと力をあわせ、小・中学校の先生の増員、水道料金の値上げ阻止などがんばってきました。

戦前から「住民の苦難の解消」を立党の精神として受け継ぐのが日本共産党議員です。

日本共産党がめざす未来社会は・・・
日本共産党のめざす日本の社会は「真に平等で自由な人間関係からなる共同社会」で、私有財産は完全に保障される社会です。

甲良民報

2008年1月号外 TEL38-4949
TEL38-2886



日本共産党は次の見解を発表しました。